

臨床研究へのご協力のお願い

東京医科大学医療の質・安全管理学分野では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんやご家族の新たな負担（費用や検査など）は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんおよびご家族のプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

医療事故被害者に対する意識調査結果の再分析

[研究の背景と目的]

2015年1月から3月にかけて、当分野で実施しました、「医療事故被害者及び家族の状況調査」の結果については、これまで回答の一部については、2019年の患者・家族メンタル支援学会第5回学術総会において、「ある質問について、選択肢aは何名、bは何名」という形（度数分布）でとりまとめ、結果を公表いたしました。

しかし、度数分布にとどまらず、さらなる統計解析を行い、より望ましい医療事故への対応を検討するための知見を得ようと考えました。すでに調査時に「論文に取りまとめるまで」、データの利用についてご同意いただいておりますが、いったん上述の形で研究成果の一部を公表し、同調査を行うための倫理委員会に対して研究実施を終了する旨の届けを出しましたので、再開するためにこの公示をさせていただくことになりました。

[研究の方法]

●対象となる方

2015年1月から3月にかけて、医療の質・安全管理学分野が実施した、「医療事故被害者及び家族の状況調査」へ回答した人

●研究期間

倫理審査承認日から2023年3月31日

●利用する検体やカルテ情報

上述の調査に含まれる、回答で、患者さんの個人情報を除いたものが対象です。カルテ情報は、含まれません。

●検体や情報の管理

回答書の原本は、鍵のかかる棚に保管されています。また、調査結果はデータベースとしてエクセルに入力されていますが、このデータベースには、回答者の住所・氏名は含まれていません。今回は、このデータベースを度数分布以外の質的・量的解析手法を用いることで、新たな知見を得ることができるかを検討します。

[研究組織]

研究代表者

東京医科大学 医療の質・安全管理学分野

浦松 雅史（研究総括、データ分析、とりまとめ）

研究分担者

東京医科大学 医療の質・安全管理学分野

藤澤 由和（データ分析、とりまとめ）

研究協力者

オックスフォード大学

チャールズ・ビンセント（論文化の際の助言）

[個人情報の取扱い]

回答書の原本は、鍵のかかる棚に保管されています。また、調査結果はデータベースとしてエクセルに入力されていますが、このデータベースには、回答者の住所・氏名は含まれていません。

[問い合わせ先]

東京医科大学

医療の質・安全管理学分野

准教授 浦松 雅史

月曜日から金曜日午前 10 時から正午、および火曜日から木曜日正午から午後 4 時
03-3342-6111（代表）から、研究代表者浦松へつなぐようお願いください。